

神奈川浄青機関紙

Vol. 18

1991.6.1

発 行 所 鎌倉市材木座6-17-19 光明寺中神奈川教務所内 浄土宗神奈川教区青年会

> 発 行 人 小松崎 成 法

Jodoshu Betsuin (Jodo Mission of Hawaii) 1991.2.26

ハワイ開教区視察旅行挙行

参加者 21 名 1991.2.25~3.2

浄土宗神奈川教区青年会

年を振り返り

神浄青会長

小松崎 成

「野呂さん、約束が違うじゃないですか。副会長までという事じゃなかったですか。」「そんな事言わず頼むよ。」野呂上人の押しに負け、諸先輩の忠言もあり、とうとう会長を受けることになりました。

う、病気になる時には、病気になる あう時は、災難にあうがよろしく候 禅師が友人に書いた手紙に、『災難に 受けとってゆくのであります。良寛 であろうと、受くべきものは正しく 人生生活の上に起ってくると色々な 雨も風もそれら天然現象だけでなく す。正しく受けるとは、 く受けるという態度が大切でありま す。正受については、字の如く正し ります。一つの事柄に心が専ら注が 仏教には『正受』という言葉があ 寒い時には寒いと受けてゆく 暑い時には暑いと正しく受け たとえ病気であろうと、 なりきっていく境地をいいま 災難

> たが行う事ができました。 環として、ハワイ浄土宗別院参拝、 事でした。二月には他宗団見学の れた、全浄の中央研修会が最大の行 がありましたが中でも横浜で開催さ 月の花まつりに始まり、多くの行事 間の浄青活動を振り返りますと、 事に一年過す事ができました。一年 務局初め会員諸師のご協力も頂き無 そうだ会長を受けたからには二年間 き事も解り、改善されてゆくのです。 物事を受ける事によって次になすべ とお出しになっております。正しく るる妙法なり。 真宗別院参拝と湾岸戦争の最中でし 生懸命努めさせて頂こう。幸い事 几

> > 第21回全浄中央研修会

たえる。 書かできました で成三年度の最大の行事としては、 平成三年度の最大の行事としては、 第三回帰敬会が十一月二十三日 第三回帰敬会が十一月二十三日 第三回帰敬会が十一月二十三日 第三回帰敬会が十一月二十三日 第三回帰敬会が十一月二十三日

がよろしく候う。

それが災難をまぬが

平成三年度事業計画

7月29 7 7 8 6月4~5日 湯本ホテル 6月1日 5月30~31日 長野·善光寺 月28~29日 広島 月4日 月4日 関ブロ寺庭婦人大会手伝 月8日 第19回関ブロ総会並びに研修会 花まつり愛のプレゼント 機関紙発刊 第2回理事会 開山忌前清掃奉仕 神浄青定期総 第1回理事会 夏期僧堂手伝 13

未定 2月下旬 12月上旬 10月24~25日 栃木·宇都宮 1月25日 11月23日 10月14日 10月9日 10月9日 10月2日 9月上旬 第9回関ブロソフトボール大会 十夜手伝·十夜街頭伝道 別時念仏会(光明寺 第3回帰敬会(光明寺 第9回神浄青ソフト大会 第3回理事会 第6回理事会 他宗団見学·一泊研修会 第17回全浄代表者研修会 第5回理事会 第4回理事会 十夜前清掃奉仕

総会報告

ご祝辞。

「記録の話に続き、成田教化団長の様が、の話に続き、小松崎会長の挨拶。日に大本山光明寺で開催されました。日に大本山光明寺で開催されました。

の発展を祈りつつ総会は終了いたし の発展を祈りつつ総会は終了いたし の発展を祈りつつ総会は終了いたし の発展を祈りつつ総会は終了いたし の発展を祈りつつ総会は終了いたし の発展を祈りつつ総会は終了いたし

ニュース・プラスワン

活躍をお祈りいたします。 「原仏教青年会の会長に就任されま」 「原仏教青年会の会長に就任されま

女性会員募集

神奈川浄青では女性の会員を募集しております。女性ならではのソフトさ、きめ細やかさを男所帯の浄青は必要としております。あなたのお力をお貸しいただけませんか。

4月上旬

第7回理事会

第20回全国浄土宗青年会 H. 2. 8. 28 5 29 中央研修会 於・ホリディイン横浜 |報告|

藤彰哲師、 里見嘉嗣師、 びにスタッフ数名と元全浄青理事長 実行委員長 いたのを今でも覚えている。 当時の野呂会長が各会員に力説して いに必要としなくてはならないと、 定した時、 において開催地が神奈川・ クによる担当になり、 平成元年十二月六日に準備会が、 回 香川隆敬師を迎え鎌倉 神奈川教区浄青の力を大 「中央研修会が関東ブロ (関ブロ野呂理事長) 並 事務局高島善隆師 関ブロ 横浜と決 理事会 伊



あき、 開かれ、 福岡日航ホテルで永江理事長他全浄 認し、平成二年二月二日には九州の と共に」ふれあいを求めて―のテー である。 青執行部と共に中研に対する会議が 員会でスタッフと内容について再確 ようにと検討された。その後準備委 マに基づき、交流の輪が広げられる また永江理事長の基本方針 ことで二十周年的色彩を強くだし 身の引き締まる思いがしたの この 半年後に迫った大会の幕が 中研 は第二 回とい 一世界

御代川において会合がもたれた。

運営部長に宮林師を迎え、 沢 八日までのタイムスケジュー 行委員会の組織図が編成され、 な事務作業に入ったのである。 務部長に古庄師、 広報記録部長に森本師、 神奈川浄青を中心とする実 財務部長に塩 八月二十 ルにそ 本格 企画

> 7 各部における神浄青会員の いただいた。

多 公司 EN EREC

それぞれの役割分担を計

画

うといった方法をとった。 最小限にし県内寺院・会員OB諸 連続であった。 のご理解をいただき協賛・寄付で賄 運営するという方法を、 業広告にさかれ、その収入で大会を 呂実行委員長の意向として、 には本当に厳しい辛い大変な編集の 大会資料になったが完成をみるまで としての産声をあげたときからの資 長の活動記録及びコメント、 顧するプログラムを組み、 ては二十周年を意識して二十年を回 りはめざましく、 丸となった我々の熱意により、 大会資料はほとんどのページが企 中研の歴史等を網羅し特色ある 財務部においては野 広報記録部 今大会では その結果 歴代理 今まで 全浄青 Ħ

炎と

All I



り運営されたことにより、

今まで以

上の結束力を強く感じとられたと思

また私自身、

生涯忘れられない

心地よい感動の中央研修会であった。

吉水智栄

こなし、スムーズにスケジュール通

に感謝 的は達 も無いほどスケジュールに追われた。 テルとの折衝等に細心の注意がはら 神浄青のカラーをだしきり、 の受付・案内、 来賓・招待者のリストアップ及び発 と参加者から今でも語られているほ 神浄青らしさのでた好企画であった 中心に各セレモニーの設営等またホ では大会のPRをはじめ、 どである。総務部では各部との調整、 われた。特に懇親会における内容は、 THE C 会員諸師が大会を成功させる為に 参加者の申込・登録、 致すものである。 せられ円滑な経理になり本当 名簿作成と息つく暇 企画運営部 大会当日 懇親会を 役割を

ハワイ特集 PART I



種に伴った文化、宗教が共存してい

私達の浄土宗、元祖法然上人

様々な人種が住んでおり、

その人

ワイには、

ハワイからのメッセージ

したのです。

ハレイワ浄土院主任 稗 貫 光 遠

まさに奴隷のような厳しい労働条件 当時は日本から十一日間も船 時間で来られるハワイですが、 (さとうきびの耕地) に連れて行か 今では、日本から飛行機で七、 一日十時間以上の労働で低賃金 到着後すぐにプランテーション (写真結婚) で、花嫁として その当時は女

日系人をはじめ、

方々と共に、ここハワイに根を下ろ祖国・日本を後に渡った日系一世の のお念仏のみ教えも今から約百年前、

祖国・日本がパール・ハーバーに攻そして、オコミリー・ に苦難を乗り越え受け継がれて参りうした日系人の心の支えとして、共 こハワイもお念仏の声する元祖さま うお言葉がありますが、 の声する所、 ました。元祖さまの御法語に「念仏 な方々は抑留されたのです。 ょうか。この戦争で、 一世の想いはいかばかりだったでし 元祖さまのお念仏のみ教えは、 自ら進んで兵隊を志願した日系 祖国・ハワイを守るた りますが、正しく、こ皆わが遺跡なり」とい 日系社会の主

ハワイに来られた方も大勢あったそ

の情けや真心が有難く身に染みたことはありません。また、日本を離れ、はじめて日本のいろいろな面を客観的にみられたということは、異国にいればこそだと思います。外に出ていればこそだと思います。外に出て

らいで妻、千里との仏縁を頂き、す。そして、その間、如来さまの も不安と心細さの と思っております。 していますことは、 の仕事をさせて頂き、 でこの家族と共に力を合わせ、 を授けて頂きました。 して足掛け七年になりますが、 た、この上ない二人の可愛い女の子 イに着いた日のことが思い出されま 日本を離れ、 このハワイ開教区に赴任 私の大きな宝だ 今、 これほど人様 貴重な体験を はじめてハワ 如来さまの計 異国の地 開教 ま



物の真の姿がわかるのではないでし物の真の姿がわかるのではないでしる。比較して、はじめてその

ものが社会や地域の中に受け入れら ていることを実感しております。 宗教の在り方が日本とは全く異なっ 詰め直すことが出来ましたし、 てお寺が存在しています。 する日として定着し、その地域で一 ジションを持っているということで 間 具体的には、こちらでは宗教その そういう点で、 日曜日は、 生活の一部となって確固たるポ ぶりに隣人と会う社交の場とし お寺や教会にお参り 私自身、 自己を見 また、

患者に対して精神的な安らぎを

お念仏の教えを説きます。

教使は定期的に病院に慰問に行

仏教が滅び去ることを意味していま離れた時、それは信仰ではなくなり、

元祖さまの真髄を伝えていく為

社会や地域、

人々の心から宗教

が

使命であるかと思います。

の精進を重ねて参りたいものです

お互い自策自励して、

より

して、それを継続することによって 終を迎える時には、医者から家族に 終を迎える時には、医者から家族に 終を迎える時には、医者から家族に 所属しているお寺のミニスター(僧 所属しているお寺のミニスター(僧 から死の恐怖を取り除き、お念仏の 中で静かに見送ることになります。 やこには、信頼関係の上に聖職者と してのポジションがあり、役割を持 してのポジションがあり、役割を持

いるのです。

、日本では宗教の在り方につい



ピールしていくことが私達の責任でピールしていくことが私達の責任でピールしていくことが私達の責任でピールしていくことが私達の責任でピールしていくことが私達の責任では、教団内外から盛んに反省なり、お念仏になるべき基軸となる教え、お念仏になるべき基軸となる教え、お念仏になるべき基軸となる教え、お念仏になるべき基軸となる教え、お念仏になるべき基軸となる教え、お念仏に反省なり、

神奈川教区浄青会の開教区視察団 羽田より空路 十五 ハワ 1 H

ハワイ特集 PART II

ハワイ開教区視察を終えて 浦 定



ハワイ浄土宗別院本尊

D

とは 見詰めていたのは、 洋上の島に骨を埋 ある者は、 ある者は慟哭の念に眼を伏せ、 プよりお話を頂いた。 の参拝であるが、その熱烈な歓迎ぶ 院を訪れた。 る開教使の辛苦の一端を拝 負って最初の視察地ハワイ浄土宗別 十九時間の時差」と言う荷物を背 の汗と涙 よりお話を頂いた。百年前に遡る行を行ない、その後中村ビショッ 拓移民の苦労、 は六年前のそれと何ら変りはなか 無縁のものであった。 ノルル空港に着い 寸 別院の本尊前において我々一 長の小松崎会長導師のもと の幻臭を嗅ぐが 祖国に思いを凝らしつつ 私個人としては二度目 我々の想像を絶す めていった開拓移 単なる時差ぼけ た 如く空を 聴した。 行 また は

時に、 神を覚醒すべく意を決して予定 境に安住する事なく、 年僧の歩むべき方向を模索すると同 ズに対し、 行動に出たのであった。 遠く日本を離 交流を通じて、 導に躬を竭くして居られる諸 かっての新たな価値観によるニー 我々が置かれている既存の 押してハワイへ渡航すべきか 実であった。 宗門の一 から疑問 巻き込まれる危惧も高 れ異国の地に於て教化 湾岸情勢の不穏な 今後国際化社会に の声が上 翼を担う我々青 だがしかし、 自身の開教精 がっつ 通り 師と 環 中

向

あり、 巡拝で痛切に感じ得た。 だけの話ではないことを今回 る宗教上の問題が、 ることができたことは多大な成果で 開教区での先駆的な活動の なければならない。 かつ普遍の念仏の教えを広めていか 人々のニーズを敏感に捕らえ、 と家とのつながりと言ったこれまで るものがある。 潮・価値観の変貌ぶりには目を見張 習慣風 近 年の我が国においても社会風 また同時に開教区が抱えて 習に安座することなく、 寺と檀家すなわち寺 その点において、 はるか常夏の島 の視 端を知 なお

文化に溶け込む姿にただ賛辞 院形式を踏襲しながらも巧みに西 とだが、 て教化伝導を成して来たその情熱 労を推し測らねばならな 雰囲気が濃厚であった。 建築様式であろう。 本願寺別院等についても言えるこ 土宗別院のみならず、 言語習慣の異なる土地にお 内陣を別としてキリスト教会 一見して印象に残るのは 白 亜の その H を贈 堂宇の 本 0

に心から御礼を申し上げて終りに た中村ビショップをはじめ関係諸師

最後に我々一行を快く迎えて頂

ハワイ浄土真宗本願寺別院



ハワイ浄土宗別院本堂内



3

「こんにちは、勝 新太郎です」



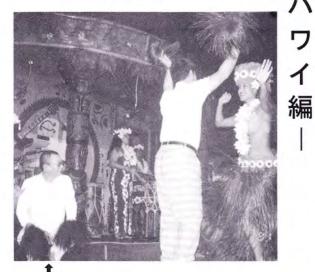
(その1) 今夜、ハワイで男になりました



「いい物件が手に入った」



今夜、ハワイでパパになりました



順番 まだァー? 今夜は最高!腰の調子も最高さ。



「もうー できない」

キョウ 工

帰敬とは、仏・法・僧の三宝に帰依する、三帰 戒に由来するものです。私たち仏教徒は、自分 という尊いいのちが生まれる為に存在したはか り知れない多くのいのち (無量寿) その大いな るいのちの流れをみほとけとあがめるのです。 みほとけに帰依し敬うということは自分のいの ちの根源にたち帰るということ。 いうこの機会をのがすことなく、仏教のおごそ かな儀式を体験し、自分のいのちをもう一度見 つめ直してみませんか。

講 演 評 ひろさちや師 家 論 神奈川教区 成 田 光俊 教化団長

記

平成3年11月23日 (勤労感謝の日)

8:30 受 付

開 会 9:00

大本山光明寺 숲 場

鎌倉市材木座6-17-19

電話 0467-22-0603

参加費 3,000円

主 催 浄土宗神奈川教区青年会

後 援 浄土宗神奈川教区

大本山光明寺

小人数 など色 な人ばかりです。 と自負しています。 皆さんに大いに楽しんでいただけ も必要なんですね。 き頰のまま、 てきました。今号はハワイの つでもやめる勇気はあるといってい 太陽の光は植物だけでなく、 今回は盛りだくさんの記事になり ワイ焼けも掃除焼けもなく、 H どうぞ、 せかえる様な空気の中。 も長くなり、 手をぬ かし 夕御 早く健康的な生活に戻 (4名) で作業して 0 編集長は○君?どうです 編集長は責任をとっ 批 黙々と机に向 大目に見てやっ 判はあると思 63 7 日ざしも強くなっ 編集委員は勝 Ŷ c かう いる都合 かう毎日、小生は 残り香 人間に て下さ りたい ます 毎

作れるぞ。 させた方がよい。 、自分の方がも ましたが、 、つまらない しょうか 回 は 7 1 出 の記事でうまっ 来はい か 6 0 かがだっ 集長を交代 てし 聞

た

編 集 後 記